

若狭町議会「議員と語る会」

グループ討議の内容まとめ（三方地域／11月6日／リブラ若狭）

◆テーマ1「若狭町議会について」

【評価できる点】

（三方A）

- ・各イベント、会合全てに議員が参加している。
- ・議員同士の仲が良いと思われる。
- ・地域の為に大変良くやってくれている。
- ・住民に寄り添う努力が見られる。
- ・会合等で地元議員が地域の現状を話すことがあり、わかりやすい。
- ・地域の課題を把握し、改善している。
- ・議員が身近に感じられ、日頃から親身に相談できる存在となっている。
- ・「議会だより」で仕事の内容がよくわかる。
- ・少数での議会活動がご苦労だ。

（三方B）

- ・地域の議員は、地域について一生懸命取り組んでくれている。
- ・地域防災に大変力を入れてくれている。
- ・地域に根ざした活動の様子が感じられる。
- ・定数が減る中、少ない議員で同じ仕事をこなしている。
- ・議員との距離が近い気がする。
- ・議会の傍聴をしたことが無く、よくわからない。
- ・言葉に出しにくい。具体的なテーマにしてほしい。

（三方C）

- ・西浦地域の問題を継続的、積極的に取り組んでいる。
- ・地元議員がいないので、議会から遠ざかっているようで評価が低い。
- ・「議員と語る会」を開催したことは評価できる。
- ・広報（議会だより）が充実している。
- ・身近に話せること。身近で気さく。親近感。
- ・他に仕事もあるかと思うが、若狭町の為に努力している。
- ・「議会だより」の発行。

◆テーマ1 「若狭町議会について」

【改善すべき点】

(三方A)

- ・理事者とは是々非々で。
- ・各地域からの要望について達成率を把握しているか。
- ・議員と住民の温度差がある。
- ・議会の様子をもっとMMネットで。
- ・忙しいと思うが、地区の集会に出席し、区民の生の声を聞いてもらえるといい。
- ・庁舎が2つに分かれていることもあり、議員同士の繋がりや行事の振り分けが不明。
- ・子育て世代との接点を増やして欲しい。

(三方B)

- ・議員も高齢の方が多い。若い人が議員になりたくない要因は、歳費にあるのでは。
- ・議員報酬が少な過ぎるということは、議員の定数を削減しては。
- ・イノシシやシカ等、動物が多く交通が危ないので、何か対策を考えて欲しい。
- ・夜間議会、休日議会などを増やし、気軽に傍聴できるようにしてはどうか。
- ・いろいろな出来事や町の問題について、住民の意見を聞いて欲しい。
- ・「議会だより」をなかなか読み込めないで、難しい。何をどうすれば良いかわからない。
- ・議会、議員の活動の成果が見えにくい。

(三方C)

- ・「議会だより」では、議員一人一人の考えていること、力を入れていることが伝わらない。
- ・忙しいと思うが、地元の議員が地元の人たちと膝を突き合わせて、じっくり話し合う機会を作って欲しい。
- ・議員が出ていない地域の要望も聞いて欲しい。
- ・町の問題点を聞く会を開いて欲しい。
- ・なかなか意見が受け入れられない。ゴミ問題。
- ・意見、要望、陳情等をどうやってすればいいのか。
- ・議員選挙が2期連続無投票であり、何としても選挙があるようにできないか。
- ・予算が無いことばかり聞かされるが、議会としてしっかりと意見を出して、住み分けをしてもらいたい。
- ・議員全般、全て予算が無い、できないは良くない。
- ・行政の取り組みの費用対効果を従来から十分に検証してきたのか。

◆テーマ1 「若狭町議会について」

【理想の議会とは】

(三方A)

- ・政策論争ができる議会。
- ・無投票はだめ。
- ・地域の現状を見て、これからの暮らしが安定できる案を作成し、地域に説明をする。
- ・女性議員、若年議員。
- ・地区ごとに議会報告、地区課題について語る会の開催。
- ・議会の見える化。

(三方B)

- ・町の住民が豊かで安心して暮らせるようにしてくれる。
- ・半分以上を女性が占める。もっと女性が多くても良いかもしれない。
- ・議会自体を理解していないので、よくわからない。
- ・町民にわかりやすい説明をする場が欲しい。
- ・議員の定数が少ないため、行政が見えにくい。そのため、関心がなくなった。
- ・目先のことでなく、若狭町の将来のことを考えて仕事をして欲しい。
- ・要望したことの返事が遅い。

(三方C)

- ・議員が私たちが代表して素晴らしいことを考えている、町行政の不具合なところをしっかりと指摘していることが見えるようにして欲しい。
- ・夢、明るい展望を語れる議会、伝わってくる議会。町の活力になる。
- ・行政の予算執行のチェック機関として、機能を十分に発揮してもらいたい。
- ・大小様々な意見や要望を幅広い世代から集め、数年～数十年を見通した町づくりに向けて頑張ってもらいたい。
- ・町の発展の為に頑張ってもらいたい。
- ・開けた議会とうたっているが、議員がもっと地域に踏み込んでもらいたい。
- ・町行政にしっかりと意見を言い、大切な判断があるのではと思う。
- ・鯖江市のJK課ではないが、子どもや女性、高齢者の意見を幅広く聞いて欲しい。
- ・議員と月1回、広く話せる場を設けて欲しい。
- ・定期的にヒアリング。SNSの活用。
- ・見える化をもっと充実していくように。
- ・各区をまわって、色々と意見を聞いて欲しいと思う。

◆テーマ2 「町の施策について」

【評価できる点】

(三方A)

- ・少額予算で行事の数減らすことなく、できているのではないか。
- ・大きな災害が少なく、先輩方の防災施策が良かった。
- ・協力隊等、他府県からの移住者が増えた。
- ・子育て支援。

(三方B)

- ・いろいろな工夫は見られる。
- ・若祭などいろいろなイベントをしていて、観光客が多く来ているように思う。
- ・旧行政より地域融和が進んでいる。
- ・財政難の中、各種イベント等の見直しが評価できる。

(三方C)

- ・役場での窓口対応など、職員の住民サービスは、だいたいにおいて良好。
- ・人口増加に努力している。上瀬ニュータウンの分譲などで気山小の人数も増えている。
- ・子育て支援の充実。(0歳～12歳)
- ・財政力が乏しい中で、行政運営の努力。
- ・少ない予算の中で、色々な施策や事業の実施を評価したい。
- ・防災。
- ・レインボーラインの大改修、年縞博物館が良い。尾根を活用した地域活性。
- ・総合的に良い。

◆テーマ2 「町の施策について」

【改善すべき点】

(三方A)

- ・道路の巡回がされているのか不明。通学路についても通行に不安のある所があり、早急に整備してもらいたい。
- ・以前の反省をしているか。進捗状況がわからない。
- ・空き家対策の取り組みが不透明。
- ・施設、課の名前がよく変わってわかりにくい。
- ・少子高齢化の対策。昔は、青年会活動等で結婚の出会いの場が多くあった。
- ・行動力が無さ過ぎる。半年前に依頼した工事もまだ手つかずの状態。
- ・金が無いのはわかるが、もう少しプラス思考でやって欲しい。
- ・予算をかけなくてもできる政策はまだまだある。
- ・地場産業の開発・誘致。IT企業の積極的な誘致。
- ・フィットネスクラブの器具が故障すると、修理に時間がかかり過ぎる。(3～6ヶ月使用不能)
- ・観光推しの割には、対応不足。

(三方B)

- ・何をすることも予算が無いので、何もできない。してくれない。
- ・庁舎の一元化。
- ・観光について、活動内容をもっと詳しく、小学生でもわかるような説明があると良いのではないか。
- ・地域おこしの観点で、民間団体の活動のバックアップに力を入れて欲しい。
- ・若者が活躍し、魅力を感じられる町づくり。
- ・町政そのものが高齢者中心のものが多く、子ども達や若い世代にお金を使うことを考えて欲しい。
- ・地域づくり協議会に対する町の熱意が冷めているのではないかと思う。(役場の体制、予算)
- ・要望しても予算が無いから、返事を濁す。
- ・二重行政の解消。
- ・原子力は衰退してきているが、これまで町が地域産業の振興という点にどう対処したのか見えるようにする。
- ・学校の統廃合、消防や病院等の見直しが急務である。

(三方C)

- ・常神は「そてつ」と言われても、ぜんぜんインパクトがない。お金をかけずに、小さな水族館を作るなどしては。
- ・若狭町の魅力を観光客に周知する手段が不足。もっと集客につなげることが重要。
- ・若狭町のホームページ。観光アピールの仕方。
- ・役場の職員に元気が無い。
- ・職員との繋がりを強めて欲しい。
- ・子どもの遊ぶ場所が無い。
- ・色々要望しても、すぐに対応してもらえない。
- ・住民の所に直接出向いての対応が以前より減っているのでは。
- ・中期、長期プランが住民にわかりづらい。
- ・住民の生活実態を職員が足を運んで聞いたり、見たりして欲しい。
- ・交通弱者への対応と対策。
- ・以前と変わらない、区の役職割り当て。
- ・広域、県機関など二重行政を解消すべき。
- ・広域行政の考え方をはっきりとすべき。県等の機関のスリム化。
- ・ゴミ収集が不便になるのでは。住民が不安がっている。
- ・集落計画は、あまり効果がない。

◆テーマ2 「町の施策について」

【課題を解決するには】

(三方A)

- ・島根県海士町を参考に勉強すべき。
- ・二重行政を無くす。若狭、敦賀地区を一本化する。負担が減る。(支出を減らす)

(三方B)

- ・豊かな財政を確保する。
- ・若者や女性の意見を聞く機会を多くして欲しい。
- ・二重行政の改善。
- ・少子化を止める為の施策をもっと出す。
- ・財政をどう作るか。
- ・本当に町民が何を望んでいるのか、十分な対話が必要だと思う。
- ・教員の自殺で、なぜお金を町から出すのか。

(三方C)

- ・町内小学校の統合と校舎の活用は同時進行で。
- ・病院、学校の統合と廃止をどう捉えるかを早急に、抜本的に。
- ・企業誘致で税収と雇用を生む。観光業に力を入れる。
- ・高齢者の交通安全と免許返納後の交通手段の手立て。
- ・なぜ未だに医療、環境、防災などが一つにまとまらないのか。
- ・若い世代の方が住みやすい町づくりをお願いしたい。
- ・地域づくり協議会、文化協会など補助金が減額され、行動範囲が狭くなっている。地域づくり協議会、文化協会は大切だと思う。

若狭町議会「議員と語る会」

グループ討議の内容まとめ（上中地域／11月7日／パレオ若狭）

◆テーマ1「若狭町議会について」

【評価できる点】

（上中A）

- ・苦勞されており、町民の意見をしっかり受け止めていただき、特に問題は無い。
- ・議会だよりを読むと、町内のいろいろな問題に取り組んでいるのが、よくわかる。
- ・地区を代表する形で議員が選出されている。相談しやすい。
- ・議員と話しやすい。
- ・「議員と語る会」の取り組みが良い方向になるのではないか。
- ・住民の意見を取り入れた活動をしている。
- ・議員の活動は、「議会だより」や個人の活動報告でよくわかる。

（上中B）

- ・質問がきめ細やか。よく勉強している。
- ・「議員と語る会」を8年ぶりに開催したこと。
- ・個人的に活動報告がされている。
- ・議員の人数が旧町で半々になり、平等に意見が聞いてもらえる。
- ・議員の意見、賛否等を「議会だより」で伝えている。
- ・真摯に議論している点に、頭が下がる。
- ・議員によって、地域に発信する通信誌がすばらしい。

（上中C）

- ・相談するとすぐに来てくれる。
- ・まじめに仕事に取り組んでいる議員が多いように思う。
- ・マスコミが食いつくようなスキャンダルがない。
- ・地元選出議員も地域づくり協議会の顧問として毎回会合に参加しており、議会や行政の情報発信に尽力している。
- ・熊川地区に議員がいないので、議員と語る時が無い。今日の語る会は良いことで、回数を増やして欲しい。
- ・議員に話がしやすい。

◆テーマ1 「若狭町議会について」

【改善すべき点】

(上中A)

- ・合併したメリットがはっきりと見えない。もっと見える化して欲しい。
- ・若狭町が発足して12年経っているが、旧習慣が残っている。
- ・未だに三方、上中で政策が一つになっていない。
- ・子どもや若者に分かりやすく、親しみやすくして欲しい。
- ・同じ意見を持つグループと活動する。
- ・地区要望、区要望を理解できているか。
- ・空き家と遊休地に施策があるか。
- ・自治体存続をどう考えているか。
- ・女性の議員を入れ、女性の意見を取り入れてもらいたい。
- ・議員数は妥当か。人口に対して議員報酬の面は。
- ・人口増加対策として、企業誘致を行政、議会あわせてもっと進めて欲しい。
- ・若い人も議会に参加できるようにするには、どうすれば良いか考えて欲しい。
- ・議会を夜に開く。

(上中B)

- ・取り組みが総花的。人口減少対策にウェイトを置いた取り組みが大切。
- ・議会活動が住民にわかりにくい。PR方法の検討を。
- ・いろいろな組織や会から意見を吸い上げていくことが必要だと思う。
- ・選挙公約についての状況や活動などの報告が必要だと思う。
- ・「議会だより」は読まれていない。読まれる努力を。年配者はじっくり読んでいるが。
- ・女性議員ゼロ。女性のニーズが理解できていないのではないか。
- ・地区議会報告があれば、立候補しやすいのではないか。
- ・議員の選挙を。無投票にしないように。町民も関心を持たないといけない。

(上中C)

- ・議員の選挙時の公約が周知されていないから、評価が難しい。
- ・若い議員がない。若い人に元気が無い。20代の議員がいてもいいと思う。
- ・若狭消防組合議会と敦賀美方消防組合議会に、少人数で上中と三方に分かれることがあり、町民が同一レベルのサービスを受けられない。(町政も同じだが)
- ・町のホームページの議会議事録を多く発信して欲しい。(現在は6月議会が出ているが9月議会は)
- ・町民(区民)と行政のパイプ役として、機能していないと思う。
- ・各議員のマニフェスト(目標)がわからない。

- ・「議会だより」で質問と回答で終わっていることがよくある。質問により解決する意志が見られない。
- ・町全体の対応が必要な時でも、地区だけでの対応をしていることがある。
- ・地域（小学校区）ごとに意見の集約を願いたい。
- ・今回のような「議員と語る会」には、半分は三方地域の議員が出席すべき。未だに、旧地域の壁があるのかと感じる。

◆テーマ1 「若狭町議会について」

【理想の議会とは】

(上中A)

- ・地域と共に進める議会であって欲しい。
- ・地域住民に寄り添い、声を町政に届けてもらいたい。
- ・若い人や女性が活躍しやすい議会。

(上中B)

- ・現場主義の議員であるべき。
- ・残り1年半の任期に、若狭町のビジョンを明確に示してもらいたい。
- ・町の課題を整理し、改善や創造にチャレンジする議会。
- ・町民の願いを積極的に酌み、弱者の味方になる議会。
- ・地区での議会報告が必要。
- ・議員報酬が安い。議員活動が本格的にできない。
- ・定員の削減。議会の活性化と処遇の改善。

(上中C)

- ・本日の飲み物は、町内企業のペットボトル飲料を使って欲しかった。
- ・今回は地域づくり協議会だが、若者との語る会も必要。
- ・若者で議員や行政に関心のある人を対象に、政経塾のような組織を立ち上げられないか。
- ・議員同士の熱い戦いが見えるように。(仲良しクラブではないように)
- ・選挙時や選挙後に全議員の主張を聞きたい。地区の代表という考え方は受け入れられない。
- ・問題と解決策を分かりやすくアピールする。議員の行動に住民や若い人が興味を持つことになる。
- ・住民参加ができる諮問委員会などを設置しては。
- ・町にとって本当に重要な施策は、要望活動等に同行するだけでなく、議会として積極的に町民に見える活動をする議会。

◆テーマ2 「町の施策について」

【評価できる点】

(上中A)

- ・空き家対策が、他市町より進んでいると思う。このまま進めると良い。
- ・介護サービスは充実していると感じる。
- ・集落計画、地域計画が町の計画となっている。
- ・課によって違うが、全体として評価できる。

(上中B)

- ・町長の公約「協働のまちづくり」、各地区とも工夫をこらしながら取り組んでいる。町のアドバイスも良い。
- ・三方、上中の壁をなくす努力をしている。例えば、イベントの開催。職員は休日も返上して実行している。
- ・行財政改革に踏み込んだことは評価できる。小中学校統合は急務だ。
- ・すばらしい企業誘致ができた。
- ・町長の行動には良い面もあるが、職員間の縦割りをしっかりすべき。

(上中C)

- ・農楽舎、農村作りを大胆に。
- ・窓口に行って相談した時には、丁寧に対応してくれる。
- ・高齢化対策は進んでいると思う。
- ・町民の為によく頑張っていると思う。
- ・各地区の対策を集約できる地域づくり協議会は良い。今後も続けて欲しい。

◆テーマ2 「町の施策について」

【改善すべき点】

(上中A)

- ・新たなゴミ焼却施設が高浜町和田地区になる予定であるが、近場にならないか。
(大掃除でゴミを捨てに行くときに困る)
- ・高齢者が増える中、運転や免許自主返納でデマンドタクシーの割引を検討しているとのことだが、他にも対策は無いのか。
- ・町づくりプランを見える化してもらいたい。
- ・観光客増加に向けた取り組み。子どもたちや家族が何度も行きたくなる観光作り。
- ・下水道等の負担金は、三方と上中で違っており、ほとんどが高い方に変動している。
- ・耕作放棄地や遊休地の対策を積極的に進めるべきである。
- ・前向きに施策を申し入れると、予算が無い、人がいない、法的にどうのこうの、生きた金の使い道があるのではないか。
- ・スクールバスを上中地域にも走らせて欲しい。
- ・まわりで赤ちゃんが生まれたという話を聞かない。それに対して、集落に未婚の青壮年がたくさんいる。結婚に結び付く有効な活動をしなくてはいけない。
- ・国の事業への取り組みを考えてはどうか。(町のヒアリングが良い方向へ進むように)
- ・可燃ゴミと埋立ゴミの分別に迷うことが多いので、具体例を示して欲しい。
- ・観光面に力を入れているというものの、移動手段が少ない。
- ・住んでいる地域によって、防災・消防組織が違っている。
- ・ゴミ収集など行政サービスに差がある。
- ・保育所、小学校とも合併して減少していくが少しでも多く残せる努力をして欲しい。
- ・祭りが縮小されて寂しい。

(上中B)

- ・悪い風評が多すぎるので、定住する人が少なくなり、希望が持てなくなる。
- ・トップがどこへ行っても金がない、人口が減少して財政面で困難の話ばかり。空き家対策など人口を増やす為の誘致をし、補助を出費してまずは人口増加を最大限に。
- ・イベントをしているが、単発的、連続性が無い、お金の無駄が多い。(異動があるからしょうがないのか)
- ・町が一つになれない。仕組みの改善ができていない。
- ・三方庁舎、上中庁舎ではなく、本庁の建設に着手すべきである。だから、一本化にはならない。
- ・パレアの運営のやり方。
- ・「一隅を照らす」との評価を取り入れるべき。(町政功労者の選考など)
- ・財政不足。財政の健全化。

- ・庁舎は2つ必要なのか。縦割り行政になっていることも多い。
- ・複数ある施設を一つにする。先を見越した改革。
- ・住民提案で町の活性化を。
- ・職員の業務が縦割りで、もっと横の連携を密にしてもらいたい。同じ課にいても担当が違くと話が通じないことが多くある。

(上中C)

- ・若年齢に対する問題施策がわからない。(人口減少にかかわる)
- ・消防行政など、三方と上中で同一レベルのサービスをして欲しい。
- ・人を集める時、すぐに公民館へ言うてくるが、内容を把握して町が地域を決める。
- ・ブラック企業化しているようなイメージがある。もう少し手を抜けるところは、抜いても良いと思う。
- ・人口減少や行財政を考えると、なるべく広域で仕事をして欲しい。
- ・人口減少に対応するビジョンの中間達成状況が見えない。
- ・県外大学生は、住民票の移動手続きをしていない人が多く、若狭町の実際の人口を把握できていないと思う。生涯独身が多い。
- ・学区撤廃と学校統合をそろそろ考える時期かもしれない。
- ・学校統廃合に関するアンケート結果が集計できているのであれば、早急に公表して欲しい。実施と公表はセットである。
- ・お金が無いのに、イベントが多い。町長がいい格好をしているように見える。応援席に議員を見ない。
- ・合併して10年以上経ち、三方と上中を統一するとの公約であったが、未だに統一されていない。

◆テーマ2 「町の施策について」

【課題を解決するには】

(上中A)

- ・若狭消防組合、敦賀美方消防組合の課題解決。
- ・介護が必要な高齢者だけでなく、元気な高齢者も安心して生活できる町。

(上中B)

- ・民間人、Uターン者のノウハウを取り込んで、マンネリ化を打破してもらいたい。
- ・人事異動を無くす。
- ・事業の効率化、連続性の強化。
- ・2つある様々なことを一つにする。(財政的に改善。住民意識の向上)
- ・町が何をしてくれるかではなく、町民が町の為に何ができるか。
- ・県に対し、小浜と敦賀の出先機関を若狭町として統一して欲しい。
- ・広域化を一番進行すべき。

(上中C)

- ・少子高齢化対策としては、町内の職場にこだわらず、近隣都市のベッドタウン化を選ぶのも一つの手段だと思う。近隣都市への通勤通学の補助、お金だけでなく、駐車場などの充実。
- ・近年の豪雨が若狭町に降った時、現在のハザードマップで対応できるのか教えて欲しい。
- ・5～6年前まで集落座談会をしていたと思うが、できたら2年に一度くらいは座談会を開催して欲しい。
- ・あじさいマラソンとツーデーマーチを一緒にする。上中地域と三方地域でバラバラの感じがする。予算を一本化する。